

# 生活指導だより

平成26年10月15日  
練馬区立大泉北中学校

## 生徒会役員選挙

現生徒会役員会の任期満了に伴い、新生徒会役員会のための選挙が行われました。2年生から4名、1年生から8名が立候補し、7名が当選しました。大北中のすばらしいところの一つに、生徒が自主的に取り組むということがあります。これは、行事など実行委員会活動だけでなく、普段から、生徒会役員会が中心になって、委員会活動などを行っているからだと思います。委員会活動は、やることが決まっているため、どうしてもマンネリ化してしまいがちです。しかし、大北中では、委員一人一人が責任を十分に感じて取り組んでいるので、活気がある活動となっています。生徒会役員会の責任は重大です。今まで、先輩たちが創り上げてきた伝統を受け継ぎ、さらなる高みを目指しましょう。

現在(10/10)、生徒会はユニセフ募金に取り組んでいます。また、18日(土)のおやじの会ボランティア活動、11月15日(土)のおやじの会主催スポーツ大会へ参加の呼び掛けを役員会が中心になって行っています。

## 緊急時の情報発信

10月3日～6日、11日～14日と2週続けての台風により、日本各地で甚大な被害が出ております。被害を受けた皆さまにお見舞い申し上げます。

練馬区は幸いなことに大きな被害を受けることはありませんでしたが、台風による警報の発令によって、通常通り学校があるのか、休校なのか判断しなければなりません。そして、判断で出た結果をお知らせする方法が重要でした。10月6日(合唱コンクールが予定されていた日)の朝のことを整理してみました。

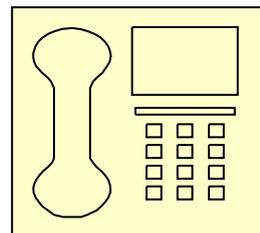
- 1 6日(月)は、練馬区として、朝7時に「特別警報」「暴風警報」が発令されている場合は、「休校」になることをあらかじめ決めていた。
- 2 大北中としては、練馬区の判断で対応をするが、6日(月)が、合唱コンクール当日であるため、朝練や実行委員の動きなどもあり、前日(5日)夕方にも、対応の状況をお知らせするために、ホームページ、まちコミメールを使用した。
- 3 学校からの情報発信の仕方は、3つ用意してありました。1：学校ホームページ、2：学校登録のまちコミメール(約99.9%の家庭が加入)、3：練馬区の学校連絡メール(約65%の家庭が加入)でした。

6日(月)の対応で、実際に使った連絡方法は、学校ホームページとまちコミメールでした(まちコミメール未登録の家庭には学校より電話連絡)。その中で有効であったのは学校ホームページでした。7時前後に数分間アクセスが集中してしまったために閲覧しにくい状態になりましたが回復しました。しかし、まちコミメールは、サーバーがダウンしたのか7時に発信しようとしていた内容が、結果的に11時頃にやっと発信できた状態でした。6日の対応は、あらかじめ特別警報か暴風警報が発令されている時は、休校と判断することとお知らせしていたので、大きな混乱にはなりませんでした。中には学校に登校して確認した生徒もいました。

この反省から対策を考え実行していきますが、多くの連絡手段を作りたいために、保護者の皆様には、練馬区の学校連絡メール(平成26年4月に登録をお願いしているものです。)に、未登録の方には、ぜひ登録をお願いしたいと思います。

## 不審電話への対応

最近また電話による個人情報聞き出しの被害が多く報告されています。多くの手口は「PTAの鈴木」、「PTA役員の田中」などと名乗り、「広報誌の作成に必要なので」と言って、名前やクラスを聞き出そうとします。できないと断っても「PTAに協力できないのか」と強い口調で迫ってくるといことです。このような電話があったら、約束通り「教えてはいけなと、先生に言われているのでできません。」ときっぱり断りましょう。しつこくされたら電話を切ってしまいましょう。



## 校外学習

10月24日(金)に1年生が、11月20日(木)に2年生が校外学習を行います。1年生は、川越を調べ学習のテーマとして、大泉学園駅から班行動を開始します。川越の歴史的建造物や名所・旧跡などを調べます。

2年生は、行動範囲を都内に広げ、平和をテーマに調べ学習を進めます。第五福竜丸や江戸東京博物館などで自分のテーマを追究します。こちらも大泉学園から班行動となります。1年生・2年生ともに班行動ということで、社会の中に出ていき、ルール・マナーの学習もします。

## 道徳授業地区公開講座

10月11日(土)に全校で、多くの保護者の皆様にもご参加いただき、道徳授業地区公開講座が行われました。今年のテーマは「感謝」ということで、各学年とも授業を展開しました。生徒が授業で感じた心を、今後の生活に生かしていけるようにしていきます。私たちの生活は「日々道徳」と言われるくらい様々なことがあります。その中で周りの人との関わり方は大きなウエイトを占めます。感謝の言葉「ありがとう」を言われて、嫌な気持ちになる人はいないと思います。そして、自分が人の役に立っていることを実感できる言葉でもあります。そんな優しい雰囲気にも包まれた生活を創り上げていきましょう。



## 東京都スポーツ推進月間



10月は東京都のスポーツ推進月間です。大北中では、昼休みを活用して縄跳び「D-1グランプリ」に、普段の積立式体力作りから、特にランニングを抜き出して「オクトーバーランニング」に取り組んでいます。体力向上は、東京都の大きな課題となっています。自分の体力はどうか気にしてみましよう。体力向上のためには、毎日少しずつ根気よく続けること、栄養をしっかりとる(偏ってはいけない)、しっかり休養(寝る)することが大切です。

☆学校へのご意見などございましたらお願いします。☆ (切り取ってご使用ください。)

## 緊急地震速報

木曾の御嶽山では、突然の噴火により、登山を楽しんでいらっしやった多くの方々の尊い命が奪われてしまいました。また、火山に関連した報道では、蔵王や霧島に噴火の予兆が認められることが伝えられました。災害は、いつやってくるか分かりません。本校でも、大地震に備え、避難訓練を実施していますが、今年度は特に「緊急地震速報」への対応訓練を実施しています。

合わせて校内には、このような掲示をしています。こんな時、どうするかを普段から意識してみてください。



以下は、「緊急地震速報」についての解説です。参考にしてください。

### 1 緊急地震速報の仕組み

地震が発生すると初期微動のP波と主要動のS波が同時に発生しますが、速度の速いP波（約7 km/s）はS波（約4 km/s）より早く伝わります。震源に近い地震計でP波を観測するとすぐにそのデータが気象庁に送られ、震源の位置や地震の規模（マグニチュード）を推定し、この解析結果から各地での主要動の到達時刻と震度を予想します。P波とS波の伝わる速度の差を利用し、大きな揺れを伴う主要動が到達する前に、地震の発生を可能な限り早く知らせる情報が緊急地震速報です。

### 2 地震観測網と発表方法

日本全国に約1,000箇所（気象庁約220箇所、防災科学技術研究所約800箇所）の地震計が設置されており、これらの地震観測データの解析から、予想された最大震度等があらかじめ設定された基準に達した地震に対して、緊急地震速報が発表されます。時間が経過すると共に、より多くの地震計の観測データが利用できることで精度は高くなりますが、主要動到達までの時間差は少なくなります。

### 3 利用上の注意点

緊急地震速報は、実際に地震が発生し、それを観測した結果に基づく情報で、地震予知ではありません。このため、緊急地震速報を受信してから揺れが到達するまでの時間は数秒から数十秒と短く、震源に近い場所では大きな揺れが来るのに間に合わないことがあります。わずかな時間で行動がとれるよう、常日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにどのように対応するかを定め、定期的に訓練をすることが重要です。

緊急地震速報を利用する場合、多くの人が集まる場所でのパニックなど社会的な混乱を回避するため、それぞれの場所における利用方法や伝達方法は異なります。ここでは、百貨店、鉄道、保育園や幼稚園、学校、病院や工事現場などでの利用事例を紹介します。

○ 百貨店などでは

館内放送で地震が発生し、大きな揺れがくることを放送している百貨店もあります。このような場合は、直ちに安全な場所で身の安全を図ります。また、従業員がお客様の安全確保、避難行動の誘導を行います。集客施設では地震発生時に混乱が起らないよう、常に訓練を行い、迅速な対応や行動ができるようにしており、従業員の指示により行動することが大切です。

○ 電車内では

JR 各社を含め、私鉄・地下鉄等の鉄道事業者が緊急地震速報を利用しています。これらの鉄道事業者は列車の運行を管理している運転指令室から全ての列車に対して地震に関する情報を送信し、各列車に、減速や停止などの運転指令を行います。乗客へは車内放送によりお知らせしますので、乗務員の指示に沿った行動をとりましょう。なお、車内放送の内容は各社によって異なります。

○ 保育園や幼稚園では

小さなお子さんは地震が来ても自分では行動判断ができないため、先生が避難誘導を行います。あらかじめ危険回避の方法や、各先生の役割分担等を決めておき、緊急地震速報を見聞きしたらまずは安全を確保し避難します。日頃から避難誘導訓練等を行うことも大切です。東北地方太平洋沖地震の際、緊急地震速報を利用したことで多くの園児の身の安全を確保することができた事例がありました。

○ 学校では

緊急地震速報を利用して、大きな揺れが来ることを校内放送によりお知らせし、安全な場所へ避難し安全を確保するよう備えています。また、様々な場所での安全確保、どこが安全な場所か考えるなど、訓練と学習を通じて、地震に備えている学校もあります。

○ 病院では

緊急地震速報を利用して揺れが来る前に手術の一時中断や放射線を止め患者の安全を確保するなどの対応を行っています。また、歯科医院では治療中の揺れは危険を伴うことから、危険回避を行っています。

○ 工事現場や工場では

緊急地震速報を利用してあらかじめ大きなゆれが来る前にクレーンの吊り下げ物を安全な場所に降ろしたり、作業員の転落防止などの安全確保を行っています。また、薬品や重量物の落下などを回避する対策や、精密機器の製造工程の一時停止などにも使用されています。

## 地震が来ることが分かったら、おちついて…

- 1 吊り下がっている照明などの下から退避し、丈夫な机の下などに隠れ、身の安全を確保する。
- 2 扉を開けて避難路を確保する。
- 3 無理に火を消さず、火に近づかない。
- 4 出口、階段などに殺到したりせず、おちついて行動する。
- 5 近くに人がいたら、声を掛けて安全な場所に誘導する。
- 6 防災担当者の指示を受け避難行動をとる。